

# 環境影響評価支援業務 (環境アセスメント)

日本環境(株)は、環境影響評価(環境アセスメント)に関する業務を行っています。

## 環境影響評価(環境アセスメント)とは

環境影響評価(環境アセスメント)とは、土地の形状の変更、工作物の新設その他これらに類する事業を行う事業者が、その事業の実施にあたりあらかじめその事業による環境への影響について自ら適正に調査、予測または評価を行い、その結果に基づいて環境保全措置を検討することなどにより、その事業計画を環境保全上より望ましいものとしていく仕組みです。



## 環境影響評価の対象事業(一般的事例)

- |            |            |         |                  |
|------------|------------|---------|------------------|
| ○ 道路       | ○ 工業団地造成   | ○ 残土処分等 | ○ 送電線            |
| ○ 飛行場      | ○ 住宅団地造成   | ○ 土石採取  | ○ 卸売市場           |
| ○ 発電所      | ○ 宅地造成     | ○ 鉱物採掘  | ○ 駐車場            |
| ○ 廃棄物最終処分場 | ○ 大規模建築物   | ○ 電気工作物 | ○ バイオマス発電所<br>など |
| ○ 廃棄物処理施設  | ○ 工場・事業場   |         |                  |
| ○ 土地区画整理   | ○ 下水道終末処理場 |         |                  |
| ○ 市街地再開発事業 | ○ 試験研究所    |         |                  |
| ○ 住宅街区整備事業 |            |         |                  |



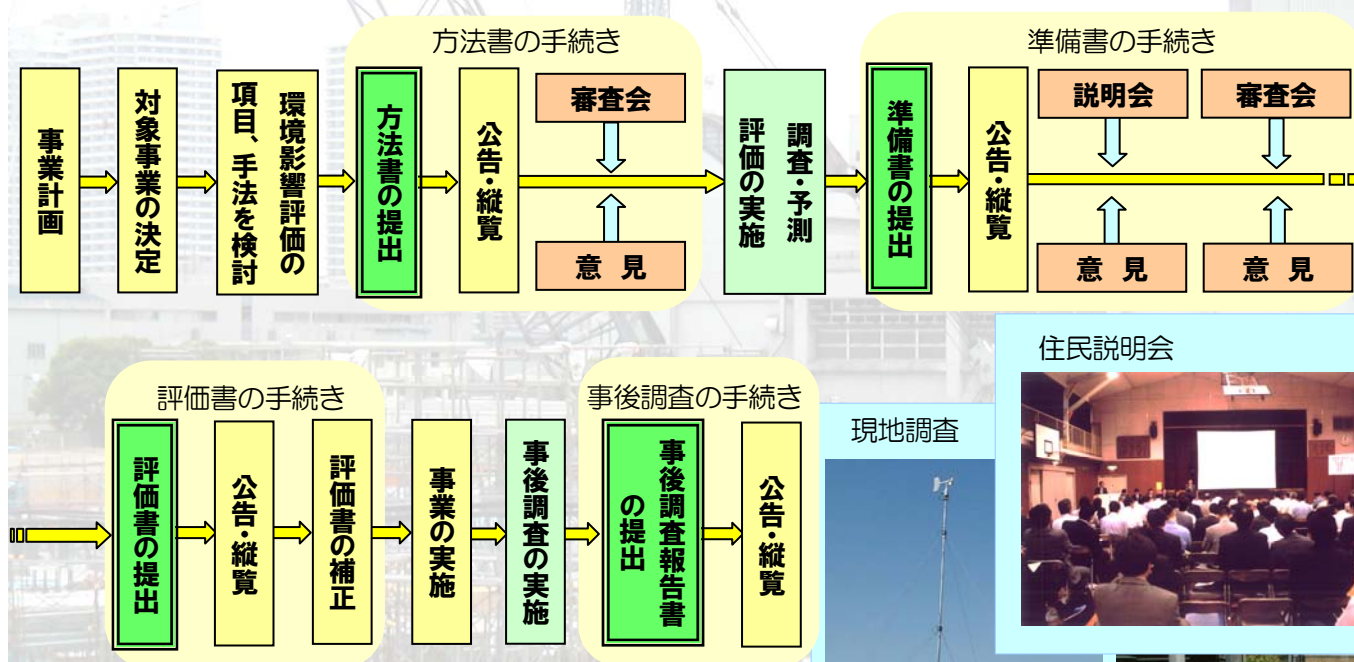
※ 対象事業は、各自治体で異なります。  
※ 自主的に行うアセスメントにも対応しています。

## 環境影響評価項目

1. 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持
  - 大気環境(大気質、騒音、振動、悪臭、その他)
  - 水環境(水質、底質、地下水、その他)
  - 土壌環境・その他の環境(地形・地質、地盤、土壌、その他)
2. 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全
  - 植物 ● 動物 ● 生態系
3. 人と自然との豊かな触れ合い
  - 景観 ● 人と自然との触れ合いの活動の場
4. 環境への負荷
  - 廃棄物等 ● 温室効果ガス など



## 環境影響評価手続きの流れ



- ※ 自治体によって手続きの流れは異なります。  
(公聴会が設けられていることがあります。)
- ※ 手続きの期間は、自治体により異なります。

現地調査



## ■当社の特徴

- 環境影響評価に係るあらゆるケースに対応できます。
  - 当社は多くの現地調査、予測・評価、環境影響評価書の作成、事後調査等の業務実績があり、各種事業の内容に合わせて環境影響評価に係る調査、予測手法等をご提案することができます。
  - 当社は生活環境、自然環境の各部署があり専門的な対応が可能です。
  - 海外の案件にも対応いたします。

## 業務概要

- ・環境アセスメント（調査・予測・評価・対策）
- ・廃棄物処理施設生活環境影響調査
- ・大規模小売店舗立地法に関する業務
- ・ISO、PRTRに関する支援業務
- ・不動産の所有権移転に伴う環境調査
- ・開発援助に関わる社会環境調査
- ・風害に関する調査
- ・循環型社会形成に係る各種調査
- ・自然環境調査（動物・植物・生態系）
- ・ビオトープ設計に関する調査
- ・開発行為に伴う各種自然環境調査
- ・土壌汚染・水質・大気に係る測定分析
- ・ダイオキシン類・環境ホルモン等微量分析
- ・EU規制物質対応（RoHS/ELV分析）
- ・建築物の遮音設計に係る各種調査
- ・建築物の振動に関する居住性能評価に係る調査

お問い合わせ先:



日本環境株式会社 横浜営業グループ

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-12-31 TEL.045-501-8271 FAX.045-502-0437